

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業					②事業番号		4214								
③事業類型		1. 法上(必須)事業			④開始年度		令和	2	年度	⑤終了予定年度	令和	3	年度	設定なし			
⑥根拠法令等		☐ 法令	☐ 条例	☐ 規則	☐ 要綱	☐ 計画等	☐ その他		法令等の名称		予防接種法						
⑦実施手法		☐ 直営	☐ 全部委託	☐ 一部委託	☐ 補助・負担	☐ その他											
⑧関連予算科目コード			款		4		項		1		目		4		細目	4	
⑨担当部名			健康子ども部			⑩担当課名			保健推進課			会計			一般会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 予防接種法に基づくもの(臨時予防接種)	① 臨時予防接種対象者数(65歳以上)	人
②	② 臨時予防接種対象者数(65歳未満)	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
①人的体制の整備	① 臨時予防接種接種者数(65歳以上)	人
②予防接種台帳システム等のシステム改修	② 臨時予防接種接種者数(65歳未満)	人
③接種券、予診票、案内等の印刷・発送	③	
④接種の実施体制の確保		
⑤相談体制等の確保		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
新型コロナウイルスワクチン接種対象者が、必要な時期に、円滑に接種できるよう進めているため。	① 臨時予防接種接種率(65歳以上)	%
	① 計算式 接種者数/対象者数	
	② 臨時予防接種接種率(65歳未満)	%
	② 計算式 接種者数/対象者数	
	③	
	③ 計算式	
総合計画体系上の位置付け		
予防接種を受けることにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と個人の重症化・死亡を予防する。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	2 すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします
	施策中	2 健康づくりの推進
	施策小	3 予防接種事業の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	臨時予防接種対象者数(65歳以上)	人				17,669		指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	臨時予防接種対象者数(65歳未満)	人				43,463		
活動指標①	臨時予防接種接種者数(65歳以上)	人				24,736		
活動指標②	臨時予防接種接種者数(65歳未満)	人				26,077		
活動指標③								
成果指標①	臨時予防接種接種率(65歳以上)	%				70		
成果指標②	臨時予防接種接種率(65歳未満)	%				30		指標となる接種者数は、国の指示で令和3年4月以降から把握となる。
成果指標③								
事業費	投入人員	人			0.40	0.40		
	正職員	人			0.08	0.08		
	任期付職員	人			0.00	0.00		
	臨時職員	人						
	事業費	千円	0	0	3,294	3,294		
財源内訳	人件費(投入人員*単価)	千円			33,792	264,820		—
	直接事業費	千円	0	0	37,086	268,114		
	総事業費	千円						
	国庫支出金	千円			33,792	264,820		
	府支出金	千円			0	0		
	受益者負担金	千円			0	0		
	その他特定財源	千円			0	0		
	一般財源	千円	0	0	3,294	3,294		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱(令和2年10月23日付厚生労働局通知)
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	・国からの海外製のワクチン供給等が遅延かつ不安定。 ・国産ワクチンは開発中。 ・変異株等による感染者が発生し、終息の兆しが無い。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	対象は、予防接種法に定める者。 近隣の三市三町・地元医師会・庁内・関係機関と連携・情報共有・調整を図りながら、随時きめ細かく対応。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	接種体制の確保。 相談体制の確保。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	接種しやすさや、普及啓発等、接種率向上にむけての対策が必要である。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	庁内の他部署より、支援や連携を受け、円滑に接種が進むよう取り組中。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費十人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)	ア. ある イ. ない	—
---	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	予防接種法に定められた事業であり、継続的に実施する必要がある。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—